

令和5年度学校評価最終アンケート集計結果報告

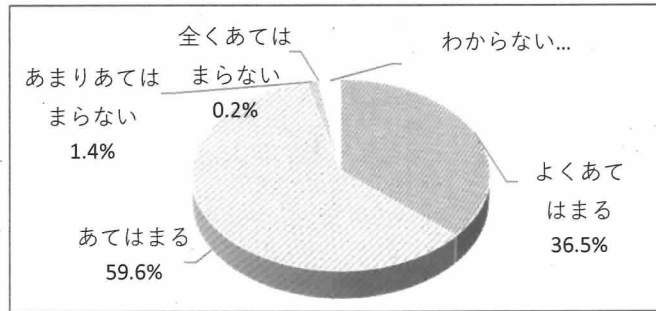
日頃より、本校の教育活動に御理解・御協力を賜り、誠にありがとうございます。学校評価最終アンケートの集計結果の概要を報告させていただきます。

最終アンケートでは、延べ592名の保護者の方々から御回答をいただき、回答率は65.3%でした。中間評価と比較すると、肯定的評価が上昇したものが4項目、横ばいが5項目、下がったものが3項目ありました。全項目について、肯定的意見における「よくあてはまる」より「あてはまる」の割合が多いことから、学校の教育活動についてさらなる改善が求められていることが明らかとなりました。

本校では、集計結果の分析に基づいて、今年度及び次年度の学校経営方針や教育課程を編成・実施していきます。今後とも、皆様の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

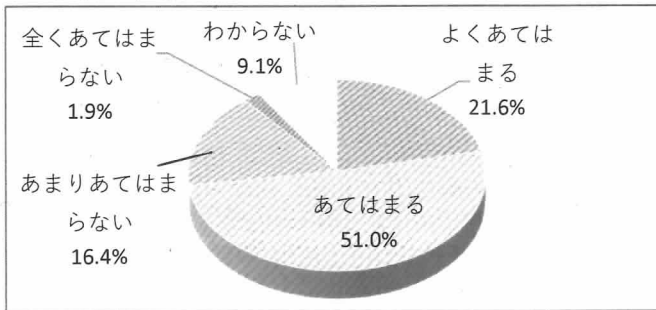
【各項目ごとの結果と考察】

1 学校は、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図っていると思いますか。



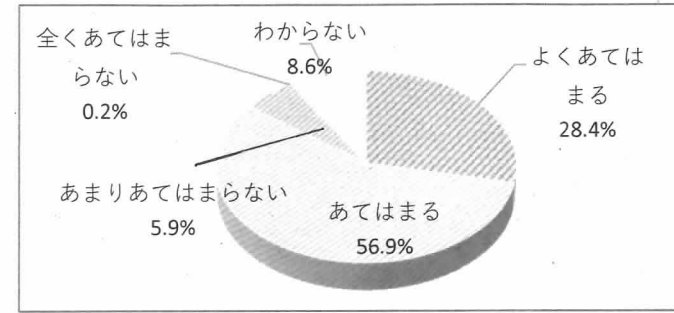
肯定的評価は96.1%でした。中間評価に比べて2.4%向上し、高い評価をいただきました。一人一人の児童が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう、ICTの活用や家庭と連携した家庭学習の充実を進めてきた結果だと考えます。今後も児童が「分かる、できる、楽しい」授業を行うために、さらなる授業改善を進めていきます。

2 学校は、個に応じた丁寧な指導を行っていると思いますか。



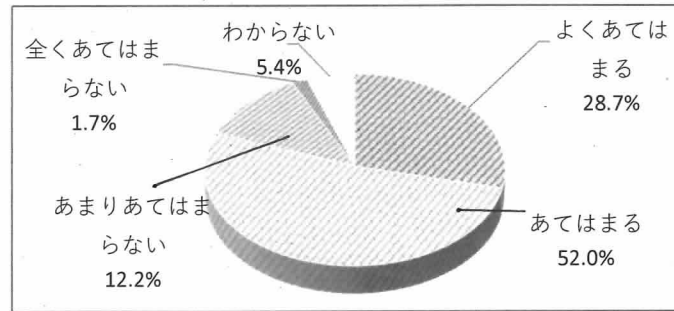
肯定的評価は72.6%でした。中間評価に比べて0.9%下がり、否定的意見が18.3%とやや高い割合になりました。教室の確保ができず、算数少人数指導が実施できていないことも影響していると思われます。今後は、児童一人一人の学習の理解度や定着度をより細やかに把握し、休み時間や放課後等の時間を活用した個別支援の充実を図っていきます。

3 学校は、課題解決学習やグループ学習などを通して、児童の思考力・判断力・表現力を高めていると思いますか。



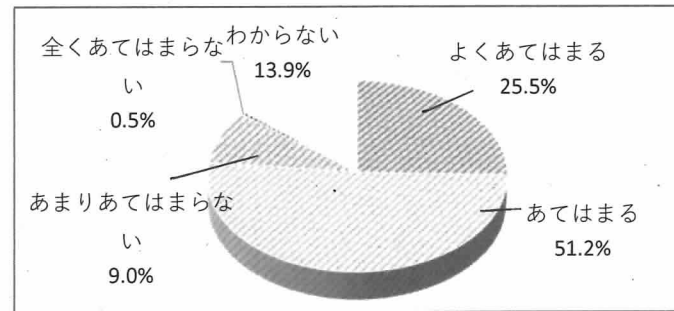
肯定的意見は、85.3%で、中間評価とほぼ横ばいでした。「あまり当てはまらない」が中間評価より3%高くなりました。5月以降、コロナ禍のために制限されていたグループ学習や対話を通じた学習が可能になりました。児童の思考力・判断力・表現力を高めるために、児童が主体的に考え、友達と伝え合い、高め合える授業を実践できるよう、教員の授業力の向上に努めていきます。

4 学校は、一人一台のタブレット端末やICT機器を活用していると思いますか。



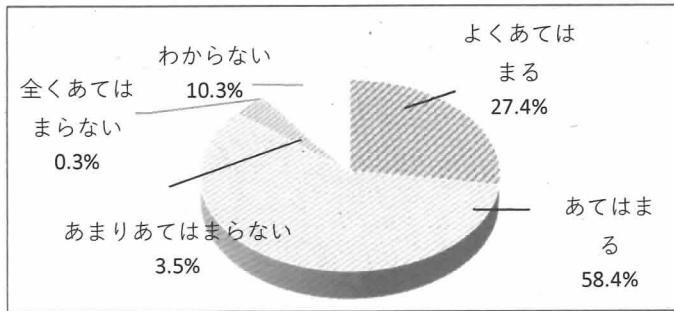
肯定的意見は、80.7%でした。中間評価に比べて約6%向上しました。しかし否定的評価は13.9%と、まだ高い傾向にあります。夏季休業日中に行った研修を生かし、各教員はICT機器の活用に使っています。また「デジタル教科書授業実践開発事業モデル校」として4回の研究授業を行い、講師の指導からデジタル教科書やタブレット端末の活用について学びました。今後も一人一台のタブレットが効果的に活用されるよう研鑽を続けてまいります。

5 学校は、地域人材や地域教材を活用した体験的な学習を充実させていると思いますか。



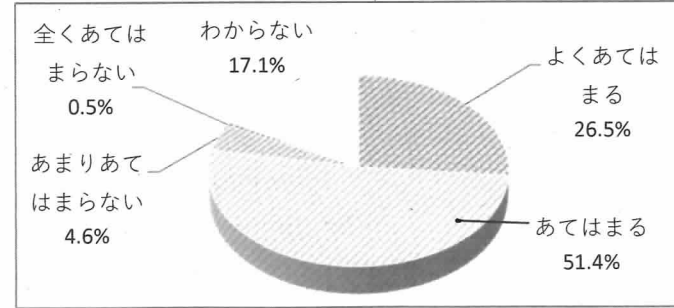
肯定的意見は、76.7%でした。中間評価に比べて3%下がりました。令和6年度には「国分寺学」の学習が始まり、児童は系統的に地域の特色やよさについて学びを深めます。今年度も各学年で、地域の方をゲストに迎えた学習や、地域の特色を学ぶ学習に取り組んできました。今後も児童の学習の様子を、お便りやブログで発信していきます。

6 学校は、「特別の教科 道徳」の授業を充実させ、児童一人一人に思いやりの心を育み、自分も相手も大切にすることを指導を行っていると思いますか。



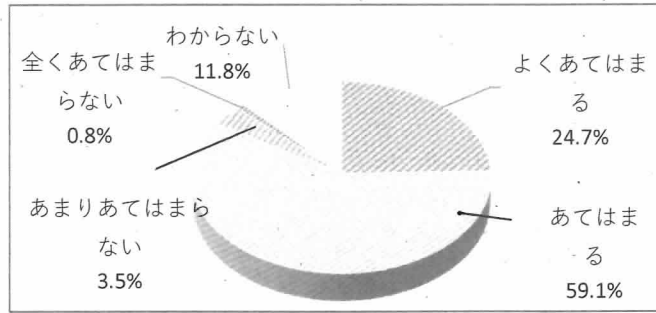
肯定的評価は85.8%でした。中間評価に比べて2%向上しました。2学期の「道徳授業地区公開講座」では、児童が教材の主題に真摯に向き合い、自分の考えを伝え合う様子をご覧いただきました。また、児童会活動では「あたたかい言葉かけ運動」を実施しました。児童は、「ありがとう。」「がんばっているね。」などの思いやりある言葉かけを意識して生活することができました。

7 学校は、「学級会」などを通し、互いの意見や考えを尊重できる、望ましい人間関係の育成に努めていると思いますか。



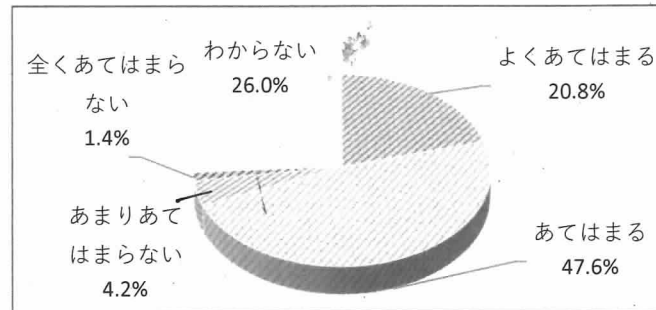
肯定的意見は77.9%で、中間評価とほぼ横ばいでした。中間評価同様「わからない」が17.7%とやや高い割合になりました。各学級では年間10回程度の学級会を実施し、考えや思いを伝え合うとともに、意見を調整し歩み寄る態度などを育んでいます。他にも委員会やクラブ、縦割り活動などを通し、児童は他学年の友達とかかわる中で、互いの意見や考えを尊重し合う経験を積み重ねています。

8 学校は、児童が規範意識をもつための指導を行っていると思いますか。



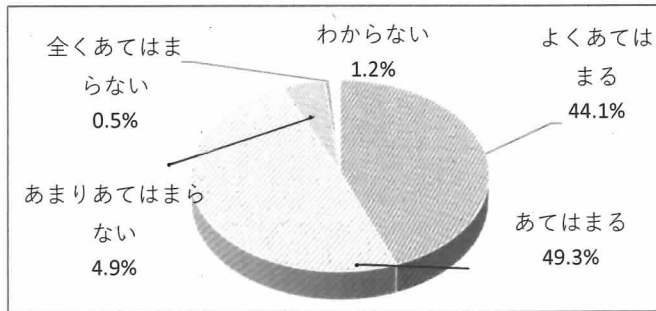
肯定的評価は83.8%で、中間評価からはほぼ横ばいでした。本校のキャッチフレーズである「当たり前前を当たり前前にできる学校」が児童の間にも定着してきました。今後も学校が楽しく安心して通うことのできる場となるために、児童が学校の決まりや学習規律を守って生活できるよう、粘り強く指導を行います。

9 学校はいじめの未然防止に努めているとともに、いじめ問題に迅速に対応していると思いますか。



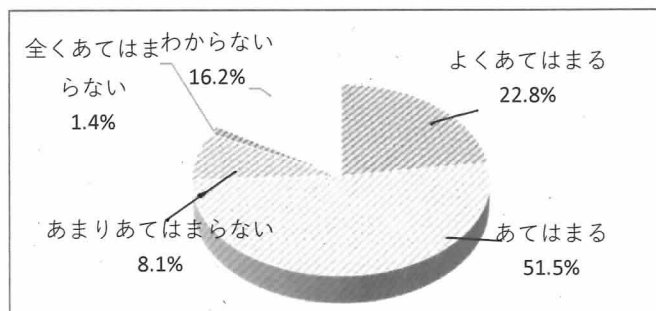
肯定的意見は68.4%でした。中間評価に比べ4%下がりました。学校では年3回のアンケート調査を実施し、「消した痕跡のある項目」や軽微なものも見逃さないよう注意深く聞き取りを行い、実態把握に努めています。また把握した案件は学校の「いじめ対策委員会」で情報を共有し、学校全体で対応をしています。いじめ対策に関する情報は毎月の学校だよりに掲載していますので、ぜひご覧ください。

10 学校は、学校だよりや学級通信、ブログ等で学校、学級の様子を発信し、開かれた学校づくりに努めていると思いますか。



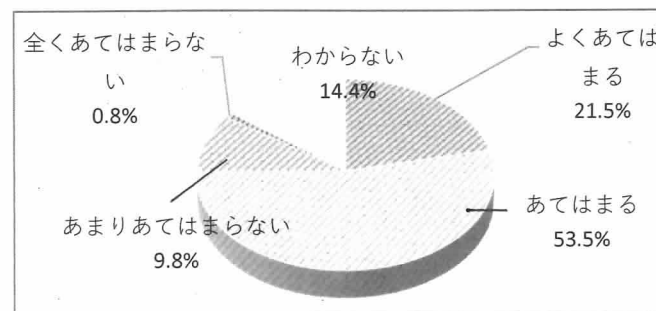
肯定的評価は93.4%で、中間評価と比べ、横ばいの結果でした。2学期から、学級便りは学びポケットにも掲載することになりました。様々な行事の様子や日常の教育活動についてはブログでお知らせしています。学校の教育活動についてご理解いただけるよう、今後も取り組みを発信し、開かれた学校づくりに努めていきます。引き続き、各種お便りやブログをぜひご覧ください。

11 学校は、保護者や地域の意見や要望をもとに、教育活動の改善を図っていると思いますか。



肯定的評価は、74.3%でした。中間評価に比べ2.8%上昇しました。「わからない」が16.2%とやや高い結果となりました。自由意見等でいただいたご要望については、対応可能なものは、積極的に改善を進めています。様々な事情でご要望にお応えできないこともありますが、二小の児童にとっての最善を考え、改善に努めています。今後も皆様のご意見を改善に生かして参りますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

12 学校と保護者・地域は、児童の成長を支えるために、連携ができていると思いますか。



肯定的評価は、75%でした。中間評価と比べ、横ばいの結果でした。今年度は各学年の地域学習ボランティアや給食試食会のお手伝いなどで、多くの保護者の皆様からご協力をいただきました。来年度は創立80周年記念行事を予定しています。児童、そして保護者・地域の皆様とともに、80周年記念行事を有意義なものにしていきたいと考えますので、引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願いたします。

《荷物の持ち帰りについて》

・毎週初めと終わりは特に荷物も多く、行き帰りだけで肩も背中も疲れると子供は言います。算数などの教科書も持ち帰りを毎日するのは何故かなと思います。何か工夫があればと思います。

→宿題をするときに参照の必要がある国語や算数などは、基本的には毎日持ち帰ることが望ましいと考えます。使用頻度の少ない教科書や用具については、学年で統一し、教室の棚に置いておくなどの手立てを取っています。担任までご相談ください。

《補助的な教員の配置について》

・離席する子、集中するのが難しい子など色々な子供たちが多く、先生一人では指導に限界があると思います。補助的な先生がいてくださると学習理解もさらに高まると思います。

→二小では、毎日1名のクラスアシスタントが来校し、児童の支援に当たっています。集中することが難しい児童に対し個別にサポートすることにより、学級の児童全員が安心して学習できるようにしています。

《いじめアンケートについて》

・いじめのアンケートは数を0に近付けることを目標にするのではなく、子供たち一人一人の心に寄り添うことを大切にするにはどうしたらよいかを考えていただきたいです。

→いじめアンケートでは、軽微なものも見逃さないように注意深く聞き取って実態把握を行い、校内の「いじめ対策委員会」で児童に寄り添った解決方法について話し合った上で、慎重に対応をしています。

《SNSに関する指導について》

・SNSの使い方等の教育も期待したいです。

→高学年のセーフティ教室では、携帯電話を提供する企業の方を招いて、情報技術の上手な活用方法とリスクについて実践的に学びました。今後もこのような取り組みを通し、情報モラル教育を進めてまいります。

《タブレットについて》

・Webサイトのフィルタリングはされているようですが、YouTubeは制限がなく見られてしまうのは良くないと思っています。

→一人一台のタブレット端末は学習用として配布しており、学校では「学習のために使用するもの」であることを指導しています。機能的、環境的にも制限が難しい場合もありますが、ご家庭でも目的に合わせた使い方を学ぶことができるようお子様にお声掛けください。

《体験的な学習について》

・タブレット等の機材には促さずとも自然にそちらの世界に寄ってしまいますので、学校ではぜひ自然体験や手仕事、体や心を使った経験をたくさんさせていただければと願っています。

→二小では、生活科や総合的な学習の時間を中心に、ゲストティーチャーによる授業や体験的な活動を取り入れた授業を行っています。今後も地域の自然や特色、人材を活用した授業実践を目指し、努めてまいります。また、ICT機器を活用した授業と体験的な授業をバランスよく行うよう工夫してまいります。

《学校アンケートについて》

・記名制をやめ、オンラインアンケートにしてはどうでしょうか。

→他校では紙ベースのアンケートに比べ、オンラインアンケートの回収率が著しく低下した例がありました。また学校と保護者・地域が顔の見える関係を築くために、記名でのアンケートを実施しています。無記名のアンケートも受け付けておりますが、学校からのフィードバックはできかねますのでご了承ください。